

みんなの夢の創造と実現のために……

星のゆめ

下松市観光協会
会 報

vol.32

2021年1月1日発行

編集・発行 下松市観光協会 : 発行責任者 弘中佑兒 TEL 0833-45-6911
URL <https://kudamatsu-kanko.jp>



◆コロナに始まり、コロナに終わる。誰がこんな二〇二〇年を想像したでしょうか。多くの生命を奪い、東京オリンピック・パラリンピックなどイベントというイベントをなぎ倒してしまいました。

◆しかしそれは、私たち人間がコロナという得体の知れない魔物に試された一年だったと言えるでしょう。人類の歴史は疫病との戦いでもあり、一〇〇年前の人類はスペイン風邪と戦っていました。

◆下松市内でも二月のくだまつ笠戸島アイランドトレイルをはじめ、八月のくだまつ笠戸島マリニイカダレース大会、十一月の稲穂祭り・きつねの嫁入りなど市を代表するイベントがすべて中止になりました。半面、小学校の運動会など規模や対策をしっかりとって開催にこぎつけたケースも多かったのです。

◆新しい二〇二二年の下松の観光ポリシーはここに答えがあるのではないのでしょうか。コロナを乗り越え、克服するための工夫をみんなを出し合って実践する。市民五万七千人の文殊の知恵こそ、コロナが私たちに与えている試練なのかもしれませぬ。

(山上達也)

新年のあいさつ



新年あけましておめでとうございます。本年が皆様にとりまして、より良い年となりますことを祈念いたします。平素は、下松市観光協会の事業に格別なるご協力とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、「新型コロナウィルス」の感染拡大により、特に観光関連事業については、多大なる影響を受けて参りました。秋以降も感染の波が押し寄せ収束儀なくされることから、皆様に喜んでいただける協会となるよう、地域や企業の皆様や、行政等との連携を強化し、下松観光の更なる発展のため尽力して参る所存です。

さて、今年度より当協会の事務局が、下松市より下松商工会議所へ移管いたしました。平成30年度に下松市が策定した「下松市観光振興ビジョン」を推進するうえで、本協会と下松商工会議所が「核となる組織」となりました。

新体制となった1年目は、コロナ禍の影響により、イベントの中止など、事業を思うように進めることができないなか、ホームページのリニューアル及び多言語化対応、Facebook・Instagramの開設、「いくちやくだまつ」をキャッチコピーとした観光ポスターの制作、雑誌の掲載など、情報発信を中心に事業を進めて参りました。

また、下松観光の中心である瀬戸内海国立公園「笠戸島」の県道沿い園地に新たな癒しスポットとなるよう実施した「菜の花と河津桜ロードプロジェクト」、面白い話題を届け、市民のみなさんを元氣付けたいという思いから「くだまるによるシティブロモーション活動」なども取り組みました。

そして「くだまつ笠戸島アイランドトレイル」につきましては、(公財)スポーツ健康産業団体主催による「第8回スポーツ振興賞」におきまして、「観光庁長官賞」を受賞することができ、今後観光振興をしていく上で、大きな励みとなりました。

下松市には市民ならびに近隣住民が観光地として認識していない、当たり前すぎて気づかない魅力がまだまだたくさんあります。

令和3年度も情報発信事業を中心に「くだまつ観光大使」や「くだまる」共演による認知度向上事業や、YouTubeでの映像発信なども取り組みたいと考えております。

これからも多くの皆様に「下松の魅力」を知っていただき、足を運んでいただけるよう観光振興に日々精進して参ります。

最後になりますが、新型コロナウィルスが、一日でも早く収束することを願いまして、皆様の益々のご健勝と、ご発展を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

二〇二二年 元旦

下松市観光協会 会長 弘中佑兒

事務局移管のお知らせ

下松市観光協会の事務局が二〇二〇年6月12日より下松商工会議所に変更いたしましたのでお知らせいたします。

【旧事務局】下松市役所産業観光課内

【新事務局】下松商工会議所内

住所 山口県下松市新川二丁目一三三八

TEL 〇八三三一四五一六九一一

FAX 〇八三三一四一一九三〇〇

休日 土・日・祝日

開所時間 八時三〇分〜十七時十五分

E-mail kankou@kudamatsu-u-cc.or.jp

事務局長 原田裕章

担当 柴田博子

村上葉津美



IKUCHA! いくちやくだまつ

Kudamatsu

下松市観光協会














令和
2年度

下松市観光協会総会 書面表決結果について



新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、5月に下松市観光協会総会の議決を書面で表決しました。

以下のとおり、各議案について過半数の賛成があり可決決定しました。

議案	内容	賛成	反対	決定内容
1号議案	令和元年度事業報告	134	0	原案どおり可決
2号議案	令和元年度収支決算及び監査報告	134	0	原案どおり可決
3号議案	令和2年度収支予算(案)	132	2	原案とおり可決

NEW

観光ポスター

いくつちや!
くたまじ

活動紹介

今年度の重点戦略である情報発信強化の一環として新観光ポスター「いくつちやくたまじ」を作成しました。下松市には観光地として認識していない、当たり前すぎて気づかない魅力がたくさんあります。そこで、身近であり、魅力ある「くたまじ」観光に、気軽ににかけてもらおうと、方言である「いくつちや！」をキャッチコピーに使い表現しました。



観光協会販売品

下松市観光協会では、名刺の台紙と観光絵はがき、笠戸島音頭のCDを販売しています。また、道路を走る高速鉄道車輛見学プロジェクトのグッズも販売しています。



笠戸島音頭 CD (税込) 500円



観光絵葉書【7枚入】 (税込) 300円



観光名刺【102枚入】全6種 各17枚 (税込) 700円



道路を走る高速鉄道車輛見学プロジェクトクリアファイル (税込) 400円



道路を走る高速鉄道車輛見学プロジェクトストラップ (税込) 500円



道路を走る高速鉄道車輛見学プロジェクト缶バッジ (税込) 200円

くだまつ
山回県下松市

笠戸島満喫ツアー



10月17日、18日の2日間で「笠戸島満喫ツアー」を開催しました。

この取り組みは、環境省の国立・国定公園への誘客推進事業で、観光地本来の姿を持続的に保つことができるよう、観光地開発やサービスのあり方を見定め旅行を設定する「サスティナブルツーリズム」を目的としています。

8家族 32人が参加し、1日目は地産地消の新鮮食材を使ったアウトドアクッキング、河津桜の植樹、ヒラメの餌やりや捌き方体験。2日目はくだまつ観光大使でプロトレイルランナーの奥宮俊祐さんによる、海と山を渡り歩くハイキング体験や、天狗岩などのフォトスポットを撮影するフォトウォークラリー、地元食材を利用したバーベキューなど盛りだくさんの内容でした。

この事業を通して「ハイキングと地産地消の島！笠戸島」を全国に広め、笠戸島を訪れる観光客の誘致により、持続的な地域社会経済の活性化を図ります。

